

# 核兵器のない世界の扉をひらこう

## 原水爆禁止2011年世界大会を成功させよう

### フクシマの警告―人類と核兵器は共存できない

福島原発事故は、いまも広い地域を強い放射能で汚染し、福島県民をはじめ多くの住民の健康を危険にさらしています。このことは、原子力依存の危険性を示すとともに、それを兵器に使う危険についても改めて強く警告するものとなっています。

原子力発電所のひとつの炉で1年に燃やされるウランの量はほぼ1トンといわれています。他方、広島に落とされた原爆は、わずか8000グラムで約14万人の命を奪い、被爆から66年になろうとするいまも20万人の被爆者を苦しめています。

この地上には、いまも2万発を超える核兵器が貯蔵され、多くが実際に配備され、発射態勢をとっています。核兵器の脅威をなくすために核兵器全面禁止が緊急の課題となっています。

### 高まる核兵器全面禁止の声と行動

昨年5月の核不拡散条約（NPT）再検討会議は、189カ国が一致して「核兵器のない世界の平和と安全を達成すること」を目標とすることに合意しました。そして、核兵器のない世界を達成し維持するための「枠組」の確立が必要であることを確認し、そのための特別の努力をすべての国に義務付けました。第65回国連総会では、NPT会議の合意の上に、核兵器禁止条約の交渉開始を求めるマレーシア提案の決議が133カ国の賛成で採択されるなど核兵器廃絶の流れがさらに強まりました。

NPT会議の合意の実現を求めて、2月15日には「核兵器全面禁止のアピール」国際署名キャンペーンが開始されました。潘基文国連事務総長も支持するこの署名は大きくひろがり、これまでに700人を超える自治体の首長・議長が賛同しています。

### 原水爆禁止世界大会に代表を送ろう

8月3日から9日まで、原水爆禁止2011年世界大会が被災地広島・長崎で開かれます。世界大会には、東日本大震災や福島原発事故の被災地の代表、国連代表をはじめ、核兵器廃絶の先頭に立つエジプト、メキシコ、キューバなど非核国政府の代表、アメリカ、ヨーロッパの反核平和団体、中国、韓国などアジアの平和団体の代表、ロシアやアメリカ、マレーシアなど核被害者の代表が一堂に集います。



大会は「核兵器のない平和で公正な世界」をテーマに、核兵器のない世界を実現するための道筋や活動について話し合います。主人公は、全国の地域・職場・学園の草の根の代表です。あなたの街から世界大会へ代表を送りましょう。「核兵器全面禁止のアピール」署名を集め、世界大会に持ち寄りましょう。

<b>原水爆禁止日本協議会</b>	
〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4	
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033	
<a href="http://www.antiatom.org/">http://www.antiatom.org/</a>	